



明けましておめでとうございます。

初日の出が神々しく輝く
そんな令和7年の元旦を迎えた。

昨年の元旦は、能登半島地震があり
多くの人が被災した。

9月には追い打ちをかけるかのように
能登半島豪雨災害があり復興を阻んだ。

しかし、現在の能登半島の人々は
これだけの困難の中でも、

「前を向いて進む」と取材に答えていた。
自分が同じ立場だったら

こんなに強く生きられるか？疑問を感じる。

そんな中で、
普通の生活を送れる事へ、感謝する。

今年もつじが丘ふたばランド保育園は、
子ども達を真ん中にして
保護者、職員皆で楽しめる保育園生活を
目指してゆきたいと思えます。



「子ども叱るな来た道だ」

年寄り笑うな行く道だ (作者不詳)

最近、この言葉の意味に、なるほどその
通り・・・と思う。自分の子どもは、自分の
分身のように感じる瞬間があるかもしれない
ないが、子どもは親とは別の一人の人間だ
と客観的に見ることも必要だと思ふ。親や
年寄りの言動に不満を感じることもある
かもしれないが、自分もその年齢になると
同じようになるかもしれない。
世の中の人々が皆、おろからで優しくなれる
1年となりますように・・・



今月の予定の中から

●もちつき (10日)

・3歳児以上が、本物の臼と杵で餅つきを
行います。0・1・2歳児は、出来上がった餅を使
いミニ臼とミニ杵で餅つきを楽しみます。昼食
は、全員お雑煮風うどんと0・1歳児わかめご
飯、2・3歳児きな粉ぼたもち、4・5歳児き
な粉もちです。貴重な経験となりますように。
●小学校見学 (20日)
・牛久第二小学校へ5歳児の子ども達が見学
に行きます。就学への期待へ繋がりますように。
●リトミック (29日)
・今年度最後のリトミックになります。

行事予定表	
1	水
2	木
3	金
4	土 保育始め
5	日
6	月
7	火 交通安全教室 (4・5歳児)
8	水
9	木
10	金 もちつき
11	土
12	日
13	月 成人の日
14	火 体操/巡回相談/ピヨピヨひろば
15	水
16	木 カレーの日
17	金
18	土
19	日
20	月 小学校見学 (5歳児)
21	火 体操
22	水
23	木
24	金 避難訓練
25	土
26	日
27	月 体操
28	火
29	水 リトミック
30	木 誕生会
31	金

保育の中で繰り返している中で、子ども達
はピアノの音に反応して身体表現できるよう
なってきました。

●誕生会 (30日)

・今月は、寒い時期に産まれた子ども達の誕生
会です。保護者の方も、風邪をひかないよう
にお子さんを育てるのに気苦労も多かったこ
とでしょうね。

★お知らせ☆

・2月の保育参観について

3歳児以上は、保育参観のなかで合奏を披露
します。内容につきましては、後日お知らせし
ますが、保護者の方は、2名まで参加可能で、
時間は、9:20～10:30の予定です。

平和で貧困のない世界を願って

イラクから来た途中入園のH君は、入園当初
は、全く日本語が話せず、集団のルールも分
からず、暴れ回っていた。ピアノの上に登つ
たり、机の上に乗ったり、危険な行動をした。
友達を突然、後ろから突き飛ばしたり、プー
ルの水の中に頭を押し込んだり、傍若無人の
振舞いだった。子ども達もHにやられたと
訴えてきて、Hを恐れた。アウトローだった。
そのうち、保護者からも苦情が来た。「少し待
って下さい。すぐに集団に慣れ、落ち着いて
きますから」と理解を求めた。担任の先生は、
手を焼いていたが、暖かく見守っていた。私
もいつも注意して見ていた。H君は、良く遊
ぶ子で、利発で活発でした。そのうち集団で
の遊びにも積極的に加わり、いつもニコニコ
と友達との関わりを求めた。お母さんは、ほ
んど日本語が話すことができなかつたが、
H君は2～3ヶ月もすると会話ができるよ
うになり、友達や先生ともコミュニケーション
をとれるようになった。友達との関係も良
好になり、一層、仲良く遊べるようになった。

遊びの中でも、友達に手を差し伸べ、助ける
姿も見受けられた。子どもの成長、発達の本
当にすごいと感心し、彼の成長がとっても嬉
しかった。「家でも、乱暴な行動がなくなり、
とても落ち着いて、Hは変わった。この園に
出会えて良かった。Hはこの園が大好きで
す」とお父さんは言った。▼そのH君のお父
さんから、11月中旬に突然、退園したいとの
申し出があった。事務から、園への未払金が
滞っているとの報告があった。直前に、未払
いのまま退園して行ってしまった人がいたの
で、どうしようと言ってきた。事情を聞
くと、お金がなく、生活が苦しいので、お母
さんと子ども達だけ国に帰るとのことだった。

そんな事情を聞いたら、お金は払ってもらわ
なくともいいので、請求しなくてもいいと伝
えた。しかし、11月の末にお父さんがやって
来て、残金を精算していった。翌日、帰国す
るまで、全ての料金はいらぬから、是非、
園に来て遊ばせて下さいと伝えた。明日、帰
国することだった。バクダートの冬は寒
いので、H君とご家族が好きになってくれた
ふたばのマークが付いた長袖の園服をプレゼ
ントすると、お父さんは、「イラクでふたばの
マークのついた服を着せませす。私泣いちゃい
ます。嬉しいです。本当にありがとうございます。この
園に来られて本当良かった。」と言って帰って
行った。▼お金がないのに、生活が苦しいの
に、きっとお金をかき集めて支払に来てくれ
たのだと思うと、未払金を受け取らなければ
よかつたと後悔した。そして、あんなにこの
園を好きになってくれたH君、お父さん、ご
家族を思うと、遠くの空をながめて、今どう
しているのだろう、楽しく生活して幸せにな
って欲しいと祈らずにいられない。新年にあ
たり、世界中から戦争、貧困、格差、差別が
ない平和な世界になることを祈ります。

理事長 浅田 精利

